

伊勢湾の定期観測

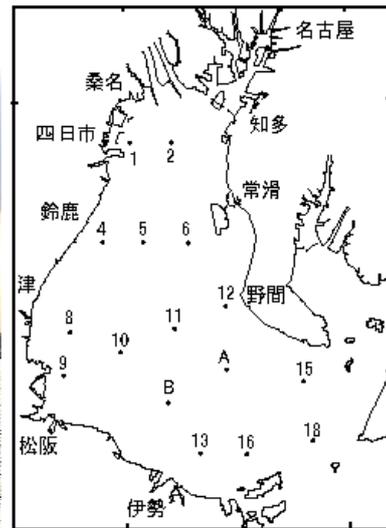
毎月、調査船「あさま」を使い定点にて定期観測を実施、伊勢湾における海洋環境の短期的・長期的変動を把握し、『浅海定線観測結果』を提供しています。特に春から秋にかけては、漁業に多大な影響を与える貧酸素水塊の挙動に注目し、『伊勢湾貧酸素情報』として迅速に関係機関へ提供しています。

これらの結果は諸環境の変動機構に関する研究や、環境の修復技術開発を行う際の基礎資料として用いられています。

また、この観測と連携してイカナゴ(コウナゴ)などの資源動向調査を行い、伊勢湾の主要魚介類の生態的知見も収集しています。



調査船 あさま(総トン数 79 トン)



調査定点



プランクトンネットの曳網
(神島付近)



CTD・採水器の調整
(四日市港付近)



イカナゴの仔稚魚調査
(伊勢湾口付近)